

ムシ歯の治療 【C3の場合】

「歯の健康教室」は、スマートフォンでもご覧いただけます。



ムシ歯によって、歯の中の神経がむき出しの状態です。

自覚症状の有無にかかわらず、神経が生きている場合は、麻酔をして神経を取る治療（＝根の治療）を行ないます。

神経が死んでいる場合は、麻酔なしで神経を取る治療を行ないます。そして最終的には歯をかぶせる治療を行うことが多いです。

ひとつの歯を複数回治療すると、基本的に歯はだんだん小さくなってしまいます。自覚症状がなく、詰め物・被せものの隙間などがない場合には、古いからといってやり直す必要はないと思われませんが、ムシ歯は進行が進むにつれ、犠牲になる健康な歯の量も増えて治療回数も多くなるため、痛みやしみるなどの自覚症状が続いて気になるようであれば、早めに歯科医院を受診することをオススメします。

